

### 第3次総合計画第4期基本計画第3回総合計画審議会議事録

日 時：平成27年8月27日（木） 14:30～17:00

場 所：東金市役所3階第1委員会室

出席者：委員（別添参照）…21名

総務部長、市民福祉部長、建設経済部長、議会事務局長、会計管理者、教育部技監、総務課長、財政課長、特命プロジェクト担当主幹、昭和株式会社、企画政策部長、企画政策部参事、企画課長、企画課副課長、企画係長、企画課主査補、企画課副主査、企画課主事、企画課主事補

※ 人口ビジョン及び総合戦略は策定途中であるため、審議会で提示した資料①～⑤の全てについては非公開とする。

#### 1 開会

（司会 企画課長）

#### 2 会長あいさつ

〔会長〕 今回の第3回審議会が人口ビジョン及び総合戦略の最終審議の場である。慎重に審議をして、来月に予定されている答申に結びつけていきたい。

#### 3 議題

〔企画課長〕 議題の進行については、東金市総合計画審議会条例第5条第1項の規定により会長に議長をお願いしたい。

（会長…了解）

〔会長〕 議題の（2）と（3）については相互に関連する内容なので、一緒にご審議いただきたい。

#### ○（1） 第2回東金市総合計画審議会 意見要旨と戦略作成上の対応について

〔会長〕 議題（1）第2回東金市総合計画審議会意見要旨と戦略作成上の対応について説明を求める。

（企画課副課長…資料①により、第2回審議会及び審議会後に提案された意見要旨とその対応を示す。また、資料⑤により、総合戦略と5ヵ年の基本計画の関係を説明。東金市のリーディングプランは第3次総合計画であり、総合戦略は基本的に総合計画に内包される。今後5年間の取り組みの規範は、第4期基本計画である。しかし、人口減少克服等の地方創生に資する事業や、中長期的な検討を要する事業に関しては、財源担保の有無に関わらず戦略に掲載している。総合戦略は、地方創生の考え方を基本計画にどう反映させていくべきかという考えを整理したものである。したがって、総合戦略には「国の交付金の対象となれば基本計画に掲載して実施していく事業」や「中長期的な検討が必要な事業」も掲載されている。このような事業は、地方創生の本格的な取り組みが始まる2021年からの総合計画に反映させていくことを考えている。）

（意見・質問）

（全委員…意見・質問なし）

○(2) 東金市版人口ビジョン・総合戦略（九十九里地域広域連携）の骨子について

○(3) 東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）について

[会長] 議題の(2)東金市版人口ビジョン・総合戦略（九十九里地域広域連携）の骨子について、及び(3)東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）について事務局より説明をお願いしたい。

（企画課副課長…資料②により、東金市版人口ビジョン・総合戦略（九十九里地域広域連携）の骨子について説明。国や県の考え方を参考にし、作成したものである。2060年の人口を約5万人に維持し、『豊かな環境と便利さを兼ね備え、人が集まるまち「東金」を目指す。

次に、資料③により東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）について説明。第2回審議会での指摘を受け、グラフや文章表現等を改善した。p5～p19で市の現状分析、p20～p27で市民・大学生・高校生アンケート結果、p28～p30で将来人口のシミュレーション、p31以降で人口の将来展望を記載している。出生率を2.33まで引き上げ、若い世代の社会増を維持しながら高齢化率を抑えることによって、人口を5万人に維持することを2060年の目標とする。）

（意見・質問）

[委員] 出生率向上という視点から人口動態について説明されていたが、人口動態は様々な要素が複合的に絡み合うものである。そういった点を含めて説明をお願いしたい。

[企画課副課長] 出生率2.07という値が国から示されている基準である。当市が2060年までに出生率2.07を達成し、かつ移動率の改善も見込んだ場合、2060年時点の人口は約4万5千人である。この推計で考慮している移動率は、国立社会保障・人口問題研究所よりも高い数値を用いている。具体的には、25～69歳のファミリー世帯の移動率を、国が推計する数値よりも毎年7%向上させている。このように、社会増をはかった上でも、出生率2.07だと4万5千人まで落ち込んでしまう。

[委員] 田間区画整理の影響で、近年田間地区では人口が増えている。これは、近隣市町にはみられない現象であり、東金市のポテンシャルを表していると言える。そうした状況を踏まえての推計ということではよろしいか。

[企画課副課長] 具体的に田間の人口がどれだけ増加したかという細かい推計はしていないが、当市が持つポテンシャルの高さを加味し、国の推計値よりも高い値を設定している。

[委員] 過去の施策の結果から、どういう施策をうてばどういう結果が出るかが見えてくる。田間区画整理は、子育て世帯が増え、人口が増加し、税収も増えたという実績がある。こういった事例があるにも関わらず、現状より人口が減少するという人口推計のラインを目標にするのか。

[会長] 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、当市が現状のまま2060年を迎えた場合、人口は約3万4千人まで減少する。その状態から、出生率向上や移動率改善により、なんとか5万人を維持しようということが目標である。この人口5万人維持という目標は、田間区画整理のような施策も加味した目標であると理解している。

[企画課長] 人口推計は出生率と移動率を推計してはじき出した値であるため、各施策の要素の複合的な絡みまでは検討に含めていない。

[委員] 第3次総合計画の目標人口であった7万5千人に届かなかった理由として、20年後だけを見ており、地に足が着いていない計画であったためだと考える。人口ビジョンも、50年後を見こした計画であるため、同様の失敗が心配される。今回策定する人口ビジョンでは、5年後の姿をどう考えているのか。

[企画課副課長] 人口ビジョンは基本的に50年先の人口を描くものである。人口ビジョンの中には

5年間の具体的な取り組みは入っていない。「まず5年間で取り組めることは何か」という視点で策定されているのが総合戦略である。5年後の姿に関しては、第4期基本計画策定の中で検討したい。

[委員] 第4期基本計画は、人口ビジョンを加味して策定すると理解してよろしいか。

[企画課副課長] その通りである。

[委員] 人口ビジョンは、「出生率及び移動率をどう改善するか」という点が最大の議題になると考えてよろしいか。

[企画課長] 方向性はそうである。

[委員] 人口ビジョンや総合戦略で掲げている目標値が高すぎると、それに付随して第4期基本計画の目標値も高くなる。第4期基本計画の下には様々な計画があり、それらの計画にも支出が無駄に増える等の影響が出る。もう少し現実的な数値目標を掲げた方がよいのではないか。

[企画課長] 人口ビジョンで目標として掲げている人口5万人維持というのは、全体として目指すべき数字である。実際に個々の事業を行う際には、それぞれ現実的な数値を用いたいと考えている。

[委員] 全体としての目標は、その下にある各事業に影響を与えるのではないか。その目標が高すぎることによって、市の支出が増えてしまうことを心配している。

[企画課副課長] 第4期基本計画策定の際には、より細かい推計を行うつもりである。人口ビジョン及び総合戦略の推計に用いている数値は、2010年に行われた国勢調査の数値を用いている。しかし、第4期計画策定の際には、直近のデータを用い、人口動態の実態に見合った推計をした上で、さらに財政フレームにも収める形にしたいと考えている。

[委員] 人口ビジョンや総合戦略に記されている内容は、国からの予算を確保するための内容であり、第4期基本計画はまた違った視点で策定していくということによろしいか。

[企画政策部長] 人口ビジョンで示している人口目標は、東金市が目指すべき人口である。この目標に向かって基本計画を策定し、取り組んでいく。そして、5年ごとに実態に即した事業計画を立て、実行していきたいと考えている。

[委員] 全体としての目標が高すぎると、その下にある各事業に影響を与えるのではないか。その目標が高すぎるによって、支出が増えてしまうことを心配しているが、その点の考えはどうか。

[企画課副課長] 第4期基本計画では、実態に即した人口推計を別途行う。2021年からの中長期的計画をたてる際にも、その時点での実態に即した推計を行うつもりである。

#### ○(4) 東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略（九十九里地域広域連携）（案）について

[会長] 議題の(4)について事務局の説明をお願いしたい。事務局からの説明後、答申をまとめるにあたり、委員一人ひとりから意見を伺いたい。

（企画係長…資料④により、東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略（九十九里地域広域連携）（案）について説明。「九十九里地域広域連携」というサブタイトルがついているが、これは、国の総合戦略の基本目標の一つに「地域連携」の視点を取り上げられているためである。東千葉メディカルセンター等で関わりが深い九十九里町との連携を想定している。特に、人の呼び込みという点に関しては、九十九里地域として取り組んでいきたい。

総合戦略の期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間である。しかしながら、数値目標をもとに必要に応じて改定を行い、磨き上げていく。

東金市総合計画が市の総合的な振興・発展のための最上位計画である一方、総合戦略は人口減少克服と地方創生に特化したものである。

人口の将来展望を踏まえた目指すべき将来像を『豊かな環境と便利さを兼ね備え、人が集まるまち

「東金』とした。当市は都心から約50キロに位置し、圏央道等道路網の発達した利便性の高い土地である。また、自然豊かな地域でもあるため、人が集まるといふ点においてポテンシャルのある地域と言える。そのため、「九十九里地域がともに発展していくための広域的な連携」・「地域資源活用と住みやすさ向上のための再生可能エネルギーの導入」・「まちの賑わいのための中心市街地活性化」・「通勤等の利便性向上のための公共交通の充実」といった視点に基づき、住みやすさや暮らしやすさに重点を置いた地方創生を進めていく。

総合戦略に記載している事業には、短期実施事業と中・長期で検討する事業がある。短期実施事業は、平成31年度までに確実に実施していくべき事業である。中・長期で検討する事業も、場合によっては今後5年間で実施する可能性がある。

夢のある戦略にするという点と、地方創生関連の交付金及び各省庁の補助金に柔軟に対応するという点を踏まえ、事業は幅広く掲載している。これまでに提案された意見に関しては、総合戦略の基本目標と合致するものは反映している。）

(意見・質問)

[委員] 住みやすさ・暮らしやすさに重点を置いた施策ということならば、市内の各地区ごとの施策を考えることも必要なのではないか。また、子育て施策や高齢化対応施策、それらを支える市民協働についての記載がない。農業施策についても十分でないと感じる。また、p12で掲げている年間転入者数の目標値は、当市のポテンシャルを考えると低いと思われる。

[委員] 当市は、バスの便はいいが電車の便が悪い。総武本線直通の電車をもって来るなどを検討するとよいのではないか。バスだけに頼っていると人口は増えないと考える。また、各地区ごとの視点も重要だと考える。これからの農業は、リタイア層が行う農業など「隙間の農業」だと思う。

[委員] JRに対しては、15年～20年近く現状の改善を要望してきた。東金駅東口への改札の設置や、最終電車の改善等を要望してきたが、ほとんどが受け入れられないという状況がある。しかし、関係自治体が費用負担をするならば、要望が受け入れられる可能性がある。当局には、その点をお願いしたい。また、戦略には「圏央道が発達したから便利」という旨の記載があるが、個人的には圏央道よりも東金道路による効果が大きいと感じている。九十九里との広域連携も、具体的にどう連携していくのかが分からない。

[会長] 市民アンケートで高い関心があった「安全・安心なまち」という視点を戦略に加えていただきたい。公共交通については、ただ東金線だけの改善を考えるのではなく、大網・東金・成東・佐倉・千葉を結ぶ千葉県の環状線計画などのように、戦略的に攻めていくことも視野に入れたらいいのではないか。

○[会長] 答申に向けての総合的な意見を、委員一人ひとりから伺いたい。

[委員] 再生可能エネルギーの中で、太陽光パネルについては、今後老朽化してきた時に更新ができるのか不安がある。乱立状態の現状もあるため、これ以上増やさなくてもよいと思う。

[委員] 住みやすさ・暮らしやすさにもう少し力点を置いて、取りまとめを進めていただければと思う。市民アンケートでも高い関心が寄せられた「安全・安心なまち」という視点も、住みやすさ・暮らしやすさに繋がると考えられる。近隣市町に負けないような市になることを願う。

[委員] 「6次産業化に興味はあるが、実際にどうしたら良いのかが分からない。」という生産者が多い。事業の詳細等を、いかに周知するかが大切だと考える。

[委員] 住みやすさ・暮らしやすさの実現のために、市と市民との協働だけでなく、市民と市民の協

働という視点もあれば良いのではと思う。

[委員] 高齢者支援や、雄蛇ヶ池等の観光施策の視点がない。また、農業施策も考えていただきたい。東金は、年間を通じて様々な作物ができる。それを利用し、観光と結びつける等の工夫も考えられる。

[委員] 事業を精査し、仕分けをすることで、数十年後でも不満が出ないような戦略を作るという意識を持って策定していただきたい。

[委員] 大学生アンケート結果を見ると、多くの学生が「仕事をする場所がない・就きたい職がない」という回答をしている。若い世代が「勤めたい」と思えるような職場が東金にできればいいと思う。また、東金は成田へのアクセスが悪い。千葉や東京だけでなく、成田へのアクセスの良さも改善されたら良いと思う。観光の面では、八鶴湖の活用を考えていただきたい。桜や菖蒲、蓮の花など、魅力あるスポットなので、雑草の処理等の整備をしていただきたい。

[委員] 少子高齢化の影響により、働き盛りの世代が都内に出て行き、高齢者が取り残されるというのが現状である。3世代同居を支援する施策があると良いように思う。

[委員] 第3次総合計画策定時の人口目標は7万5千人であったのに、ここにきて大幅に減ってしまうという現状は、ネガティブなイメージが強い。明るい気持ちで取り組めるような施策にするため、プラス要因を入れると良いのではないか。

[委員] 生まれ育ったまちから就職を機に東金に移住してきたが、電車の不便さや駅周辺の賑わいのなさで不安になった覚えがある。すぐに改善できるものではないことは分かるが、どこにお金を使うのかを吟味していくことが大切だと感じる。

[委員] 魅力あるまちにするには、目の前に牡丹餅を置くような施策も必要だと考える。他市では、消防団に入団することによって、地元商店街での買い物の際に割引が利くようにしている例もある。人口減少は全国的な問題であり、しょうがない部分もある。なるべく人口を減らさないためにも、生活環境を整え、魅力あるまちづくりをしていく必要がある。

東金市では、各地区ごとに特徴がある。それぞれに合った環境づくりが必要である。現在、区長会で話し合う回数を増やし、各地区に合ったテーマについて検討している。

[委員] 観光資源として八鶴湖があるが、大型バスの駐車場がない等の問題がある。そういった点を整備する必要があると考える。また、消防団には郷土愛が必要だと考える。過去の施策の失敗を繰り返さないようにしたい。

[委員] 「げんきづくり」の施策が充実しているように感じる。観光の面も考えられていて良い。

[委員] 地域連携を謳うには、まず東金がリーダーシップをとることが必要である。東金に活力があるというところを見せるべきだ。市の職員が元気になれば、戦略の文面も明るくなると思う。

八鶴湖の駐車場整備に関しては、商工会議所で動き出している。

どうしたら良いまちになるかを考えていただきたい。あがってきた要望に応えるだけでなく、先を見据えて行政側から提言することも重要なのではないか。

[委員] 大学との連携だけではなく、高校などの諸学校との連携も視野に入れていただきたい。学校に任せてアイデアを募集するなどもいいと思う。学生が「また東金に戻りたい」と思えるような楽しいイベントを、学校が中心となつて行うのが良いと考える。子どもが参加するイベントには、保護者も参加するので、結果的に地域全体の賑わい創出に繋がる。東金市は恵まれた学園都市なので、その強みを生かしていただきたい。

これから高齢化がさらに進行していくので、公共施設等へ憩いの場を設置する事業を積極的に行っていただきたい。

子どもの習い事に助成金を出す必要があるのか。それならば、医療費を無料にしたほうが良いと感じ

じる。お金を使う場面をよく考えていただきたい。

山武市では、2020年東京オリンピックの事前キャンプに、スリランカを誘致することに成功している。東金市も手を打った方がいいのではないかと思う。

東千葉メディカルセンター周辺の道路を整備し、病院に入りやすくすることも考えていただきたい。  
[委員] 文化的な要素が施策に入っていない。また、地域のリーダーとして、事業の担い手を育てていく必要があると考えるので、総合戦略に書き加えることも検討していただきたい。

地域の活動にはお金がかかるが、当市はふるさと納税制度をうまく活用していただきたい。

[委員] 城西国際大学との連携を謳っているが、市内には農業大学や高校などもある。城西国際大学との連携だけではなく、市内の各教育機関と連携ができるよう、表現を改めていただきたい。

総合戦略を実施していくにあたり、どの程度の予算を見込んでいるのかを教えてください。

秘書広報課の特命プロジェクト担当が行ってきたことは、計画のどの部分に反映されているのかを教えてください。

[委員] 総合戦略は、今後5年に特化した計画であるので、集中とスピード感が大切であると思う。そのため、各事業の優先順位が分かるように事業を記載していただきたい。また、東京一極集中を改善するためには、若いファミリー世帯をいかに呼び込むかが重要である。そのため、わくわく、どきどき、ときめき、といった若者の目を引く表現を使い、メディアに情報を売る戦略も必要ではないか。

[委員] 総合戦略の期間は平成31年度までとなっているが、平成31年度時点での人口目標や年齢構成がどこにも示されていない。記載すべきなのではないか。

第3次総合計画の第1期基本計画では、過剰投資が目立った。その結果、第2期基本計画は苦しいものになった。第3期基本計画では少し余裕が出てきたものの、企画力の弱さが出ていた。そういった過去の経験を生かし、人口ビジョンではしっかりとした数値目標を掲げていただきたい。

東千葉メディカルセンターは、今年いっぱい約40億円の赤字が見込まれている。甘い施策では乗り切れないので、ポジティブで明るい施策を打ち出していきたいと思っている。

各事業の数値目標は現状より高い数値を掲げているにも関わらず、人口に関しては現状より減るといふ目標を掲げているのが腑に落ちない。コンサルタントを活用し、他市町村の事例やアイデアを盛り込んでいただきたい。個人的には、東金市のポテンシャルを生かしければ、5年後には人口が増えていくように思う。

[委員] 人口ビジョン及び総合戦略の骨子案において5つの基本目標が掲げられているが、「しごとづくり」が4番目にきている。「しごとづくり」は1番目に掲げられた方が良いのではないかと思う。東金市に仕事がないために、若い世代が都心へ流出し、所得税や住民税の税収が上がらない。雇用の場を創出することが最重要事項だと考える。

圏央道は、現在木更津までしか繋がっていないが、今後は成田とも繋がるのが期待される。そうになれば、世界各国と繋がることできる。東金市には農産物以外の地域資源はないと考えているので、圏央道を生かし、物流系企業を誘致するのが良いのではないか。

東金市職員として長いキャリアを持つ方が多くいる。そういった方は、どの程度人口ビジョン及び総合戦略に対して意見を出しているのかを伺いたい。

[会長] 委員から「文化の香りが薄い」という意見が出たが、その通りであると思う。市民の文化的な活動を認知し、それを応用していただきたい。また、国際性が出ていないように思う。当市は城西国際大学を抱えており、国の方からもグローバル人材の育成を求められている。東金市には国際化の窓口があるので、それを活用することが必要だと考える。

総合戦略を美辞麗句的にまとめた結果、目玉事業が埋もれてしまっている。事業の説明がないと市

民には分からない。市と市民が同じ方向を向くようにしていただきたい。

「短期実施事業」、「中・長期で検討する事業」という表記は改めた方が良いように思う。「中・長期で検討する事業」の表現では、「やらない事業」と読める。

委員から5つの基本目標を掲げる順番についての意見が出たが、この5つの基本目標に関しては優劣はなく、上に記載してあるから重要というわけではない。

○[会長] 委員からの質問に対する答弁を事務局に求める。

[企画課長] まず教育機関との連携の件だが、これは指摘の通り「大学との連携」という表現を改めたいと考える。

東京オリンピックに向けた取り組みとしては、市長を本部長にしたプロジェクト推進本部を立ち上げている。事前キャンプの誘致に取り組んでいるところである。今のところ誘致が決定した国はないが、東金アリーナに視察に来た国もある。

5年後の人口目標を総合戦略に謳いこむべきであるとの意見があったが、国からは5年後の人口目標まで求められていない。しかし、第4期基本計画において人口の設定をするため、そちらで対応したいと考えている。

総合戦略を実行していく上での予算についてだが、設定はしていない。今年度末までに策定する第4期基本計画については、財政フレームに収めた形で策定したい。

意見の反映については、庁内の全職員を対象としたアンケートを実施し、それを精査した上で反映したところである。全部で876件の意見が提出された。

シティプロモーションについては、総務省が計画している「全国移住ナビ」に参加し、PR動画を作成しているところである。しかし、シティプロモーションは当市の弱点である。産業振興課・企画課・秘書広報課等で行っている事業を工夫したい。

[企画課副課長] 本審議会の前には、必ず全部長及び参事、技監、議会事務局長、総務課長、財政課長、会計管理者、特命プロジェクト担当というメンバーで策定調整会議を行っている。その会議においても、内容の審議をいただいている。

特命プロジェクト担当の業務は、大学との連携や6次産業化、都市基盤の再整備、子育て支援の強化が総合戦略に反映されている。また、特命プロジェクト担当は再生可能エネルギー関連事業にも携わっており、これについても総合戦略に反映されている。

○[会長] 事務局には総合的に答弁いただいたが、答弁に意見のある委員は発言をしていただきたい。

[委員] 総合戦略の策定の背景とねらいにおいて、「人口の現状と将来の姿を示す」とあるが、5年後の人口の状態を示さなければ、ここに書いてあるものと違うものになってしまうと考える。

○[会長] その他の意見については、意見提案書を通して事務局に提出していただきたい。答申案を審議会委員に示し、最終的に市長に答申を提出したい。事務局からも説明願いたい。

[企画課長] 答申について意見がある場合には、意見提案書を9月2日（水）までに事務局に提出していただきたい。答申の取りまとめについては、会長及び副会長に一任することとしたい。答申の内容は、人口ビジョン及び総合戦略について委員から提案された意見の列記になると考えている。答申の提出は、9月17日（木）午前9時を予定している。委員には、提出前に答申を配布したいと考えている。答申提出の際、同席できる委員は、事前に事務局に申し出ていただくようお願いしたい。

次回の第4回総合計画審議会は、第4期基本計画についての最初の審議となる。議題は、第3期総

合計画の総括及び第4期基本計画の基本方針についてを予定している。第4回総合計画審議会は、10月7日（水）午後3時から第一委員会室での開催を予定している。

[会長] 事務局に提出された意見で総合戦略に反映しきれなかったものに関しては、第4期基本計画での対応を考えていきたい。10月7日以降、合計4回の会議を予定している。

○(5) その他

[企画課長] 当市の人口ビジョン及び総合戦略は、県内で一番早く国に提出できる見込みである。

議事の終了

4 閉会

以上